

74 高校生の県内就職率 8割

29年10月19日掲載

新規高卒予定者の採用選考が9月16日から開始され、高校生の就職活動はいよいよ本番を迎えています。

2年前に山口県が実施した県内高校生の就職意識等調査では、就職又は進学を希望する地域を質問したところ、県外希望が46.2%と県内希望の38.4%をやや上回り、若者の県外志向を示す結果となっています。

実際の状況を見てみると、文部科学省の「学校基本調査」によれば、今年3月に県内の高校を卒業した大学等進学者の約7割が県外に進学しているものの、就職した3,439人のうち県内で就職したのは2,758人で、県内就職率は80.2%となっています。これは全都道府県中23位で、全国平均(81.2%)をやや下回っていますが、ここ10年間の県内就職率を見てみると、おおむね80%台で推移している状況です。

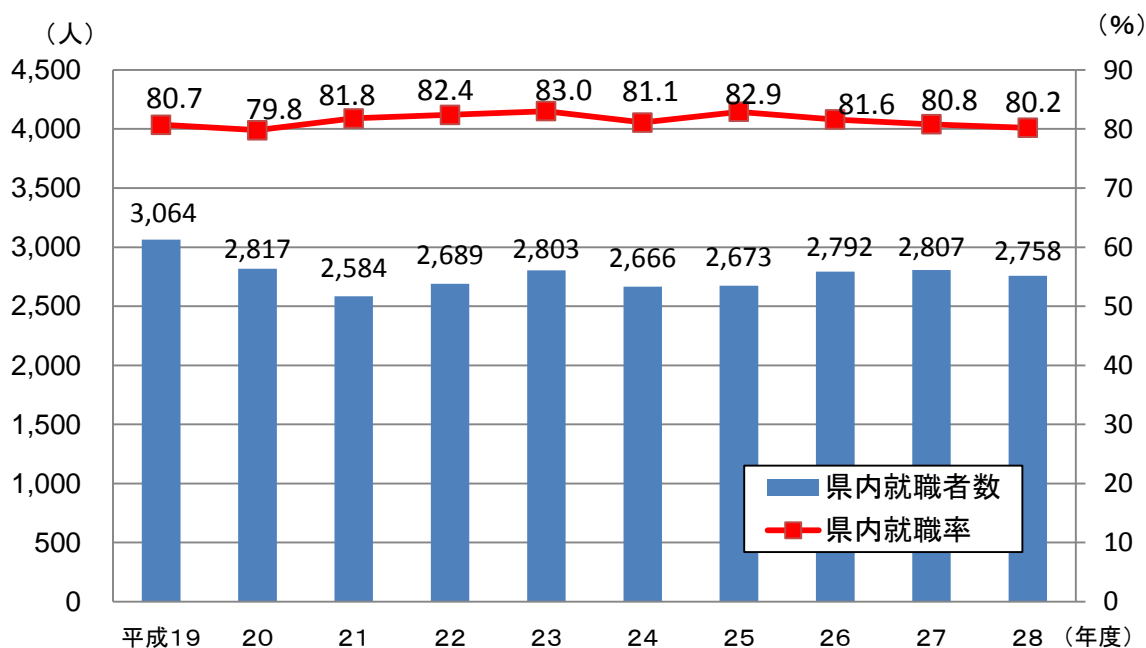
また実際の就職先を産業別にみると、瀬戸内海沿岸部に製造事業所が集積する工業県山口を反映するように、男女ともに製造業が最も多く、男子は1,294人、女子は292人となっており、次いで男子では建設業(214人)、女子では医療・福祉(247人)、卸売・小売業(223人)となっています。

山口労働局発表の来春の新規高卒予定者の求人数(8月末現在)は5,336人と前年同期に比べ9.2%の増加、産業別では製造業において前年同期に比べ250人(16.3%)増加しており、県内企業では、若い人材が求められています。

山口県では、県内就職ガイダンス、ふるさと山口企業合同就職フェアの開催などを通じて高校生の県内就職を応援しています。

就職活動をされている高校生のみなさん、県内就職を考えてみませんか？

県内高等学校卒業生の県内就職者数と県内就職率の推移



出典:文部科学省「学校基本調査」 注)28年度は速報値